

「北海道における緊急事態措置（道案）」等に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

1-①

道案に対する異論なし。
 クラスターの発生が少しずつみられる幼稚園や保育園について感染予防の再度の徹底が必要。
 幼稚園や保育園は、学校と比較して小規模なため、感染予防対策がおろそかになりがち。家庭内感染により、クラスターの発生を防ぐため、学校に付け加えて、幼稚園や保育園の対策も願います。

1-②

急激な感染拡大を踏まえ、国の緊急事態宣言に基づき、全道域で感染対策を強化することはやむを得ないものとする。

1-③

措置案には特に異議なし。
 これまでのまん延防止重点措置と大差ないことから、緊急事態宣言を機に、全道域で危機感を共有できるように、周知徹底に向けた分かりやすい情報発信に力を入れるべき。
 デルタ株のまん延に伴い、家庭内感染の拡大が見られることから、保育園や学校など教育現場における感染対策の徹底に向けて、専門家による点検活動を行ってはいかがか。現場ごと感染防止対策のポイントを指摘し、見落としに気づくきっかけをつくる必要があると考える。
 部活動については、大会への参加は校長判断とされているが、学校間で濃淡がつかないよう、より安全側で判断するための統一的な対応が必要だと思ふ。
 また、全国からの来道者の抑制に向けて、緊急事態宣言地域への往来を控えるよう強く呼び掛ける取り組みを政府に求めていただきたい。

1-④

現在最も有効であるワクチン接種の推進をお願いしたい。集団接種会場について、就労者に対応する為、接種時間を夜間まで延長したことは評価するが、さらなる接種者への啓蒙と医療機関にワクチン接種を積極的に進めていただくよう働きかけをお願いしたい。

1-⑤

一定のルールに基づいてしか要請ができないものと思うので、提案内容に意見はなし。
 これまで以上に、強力な呼びかけや従ってほしい方針が示されないと、自粛疲れ、宣言慣れの中で「どうせ協力しても効果がない」と思われかねない。
 知事や自治体の長以外にも、道民が耳を傾けるような人の起用、媒体を使った発信など、ここまでやるなら相当に大ごとだと思わせるような対策が打てないと、結局効果が得られないままになりそうだ。
 また、治療にあたる医療機関や在宅療養、宿泊療養、それぞれの連携、効果的な検査呼びかけなども重要になると思う。

1-⑥
道案について概ね妥当。

2 市町村・関係団体の意見

2-①
この度の道案については、同意する。
なお、飲食店等に対する措置が、これまでの時短要請から休業要請に切り替わることにより、飲食店への食材の卸業者等への影響がこれまでに以上に拡大することが懸念されるため、幅広い業種に対する支援について、国への要請も含め、検討いただくよう、切にお願い申し上げます。

2-②
一般措置区域に対する要請内容については、ワクチン接種率を加味したものとすることも必要と考える。
また、特定措置区域には、道内の中核的市を加えることで道内全体のまん延防止に効果があるのではないかと考える。

2-③
今回の対策強化についての周知については、これまでの対策とどういった点が違うのかなどということをはりやすく伝えるなど、行動自粛につながるような丁寧な情報発信をするなど、国民の健康と命を守る万全の対策を講じていただきたい。
また、周知方法については、新聞、テレビ、ラジオの報道はもちろんのこと、インターネットやSNSなどの周知を強化していただきたい。現在、感染者の率が増えてきている若い世代は、テレビを視聴する人よりもインターネットを視聴する人が多いことから、効果的な周知のため、YouTubeやLINEなどのSNSへの広告による情報発信を重点化してはどうか。

2-④
全道の新規感染者数が増加しているなど感染拡大が続いている状況から、国の緊急事態宣言を踏まえ、さらなる対策を講じることは当然の判断と考える。
ワクチン接種は感染防止対策の有効な手段であることから、感染者数の割合が高い若い世代への接種を促進させる対策を検討する必要があると考える。

2-⑤
道案に対し意見はないが、期間内に徹底した対策を行い、早期に解除されることを求める。

